

**製品名: CD46 (12M15) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe08405**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.26mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000
分子量	44kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD46
別名	MCP; MIC10; TLX; TRA2.10; CD46;
遺伝子 ID	4179.0
SwissProt ID	P15529
免疫原	ヒト CD46 の合成ペプチド

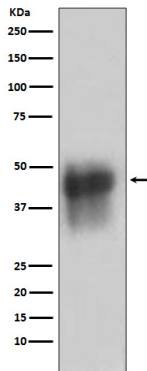
**背景**

CD46はI型膜タンパク質であり、補体系の調節因子です。このタンパク質は、血清因子Iによる補体成分C3bおよびC4bの不活性化の補因子活性を有し、宿主細胞を補体による損傷から保護します。さらに、CD46は、麻疹ウイルスのエドモントン株、ヒトヘルペスウイルス6型、および病原性ナイセリアのIV型線毛の受容体として機能します。宿主組織に沈着したC3bおよびC4bを切断することで、補体媒介性損傷から自己細胞を保護するセリンプロテアーゼである補体因子Iの補因子として機能します。受精時に精子と卵母細胞が融合する過程に関与している可能性があります。また、CD4+から制御性T細胞1への分化を誘導するT細胞の共刺激因子としても機能します。制御性T細胞1は、インターロイキン-10を分泌することで免疫応答を抑制するため、自己免疫を予防すると考えられています。

## 研究分野

免疫学

## 画像データ



K562細胞溶解物中のCD46のウェスタンブロット分析。